



ゾウがでたゾウ

ゾウが出たぞう。

平成21年12月19日(土曜日)、長らくお待たせしていたアジアゾウのグラウンドと新事務所・売札・資料館・軽食などの機能をあわせもった「ふれあいプラザかみね」が同時にオープンしました。平成20年10月に仮の入園口を作ってから約1年3ヶ月、動物園へ足を運んでくれたお客様には本当に色々とお不便をおかけしてしまいました。特に心苦しかったのは平成21年の6月以降は、せっかく来たのに工事の関係でまったくゾウをお見せすることができなかつたことです。この動物園の一つの特徴は、入ってすぐに大きなゾウが見られることで、前にも書きましたが、「わー、ゾウさーん」と言って入ってくるお子さんのなんと多いことか。ですから、見られないと知ったときは本当にがっかりされます。でも、もう大丈夫です。倍の大きさに広がったグラウンドで、とてものびのびしたゾウさんの姿がいつでも見られます。

ゾウの「ミネコ」と「スズコ」は工事期間中2度寝室の中に入ったままの状態がありました。最初のときは約3週間でしたが、工事終盤のときは1ヶ月以上も寝室の中だけで過ごしていました。私たちもなるべく早く出してあげたいという気持ちでしたが、どうしても工事追いつきのときは予定より日数がかかってしまい、結局オープンの4日前にグラウンドへ出さざるを得ませんでした。飼育員たちも最初、うまく出られるかどうか不安視していた向きもありましたが、心配していたよりはスムーズに出られることができました。

今回の目玉のひとつは広くなったほうのグラウンドに土(山砂)を入れてあげたこと。ジャンマーのキャンプで生まれ育った彼女たちですが、かみねに来てから22年たつ彼女たちにとって始めて経験する土の感触。故郷を思ったかどうか知りませんが、真っ先に行動したのはスズコのほう。恐る恐る近づいたかと思うと鼻で土をすくい上げプワッと体にかけて始めました。想像していた通りではありました。自然界にはない硬いコンクリートのグラウンドで長年生活してきたゾウたちに少しでもストレスを軽減させてあげようを選択したものです。ミネコもつられてしばらくすると砂浴びタイム。全身砂まみれになる彼女たちを見ていると気持ちいいんだろうなあ、とってしまいます。特に冬場でも気温の高かった今日などは、適度に砂の温度も上がりあたたかく感じたかもしれません。しかし、飼育にとってはグラウンドや寝室が砂まみれで、それはそれは大変ですが飼育員は皆優しく温かい目で見守っています(と思います)。

今年も残すところあとわずか。動物園にとって今年は新施設建設や赤ちゃんの誕生ラッシュなどにぎやかな1年となりましたが、なんといつてもたくさんお客様に来ていただいたのが良かったと思っています。本当にありがとうございました。来ていただいた方、そしてこのホームページをご覧頂いた方、平成22年は平成21年以上に面白くて楽しい動物園にしたいと思っておりますので、またよろしくお願いします。(平成21年12月23日 園長 生江信孝)



スズコの砂浴びタイム



広くなったね



ふれあいプラザかみね



エレファントカフェ

2009年12月23日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)